

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために — 必ずお守りください

- 接続・取り付けやご使用前に、この安全上のご注意と別冊の取扱説明書・取付説明書をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。
- 安全上のご注意、取扱説明書、および取付説明書は、お読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管してください。

- この安全上のご注意に書かれている内容は、カーステレオ、ナビゲーションシステム、モニターテレビなどの製品全般についての内容を記載しています。そのため、お買い上げいただきました製品に当てはまらない内容もありますがご了承ください。

パイオニア株式会社
〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2003-2010
< KNKZX > < 10B00000 > < CRM1568-D/U >

絵表示について

この安全上のご注意、取扱説明書、取付説明書、および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただいて、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

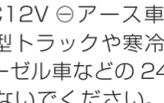
	警告 この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	注意 この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

	このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。
	このような絵表示は、禁止（やめてはいけないこと）の内容です。
	このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

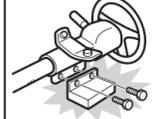
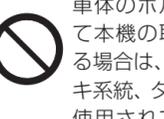
[使用の条件]

DC12V ⊖アース車専用

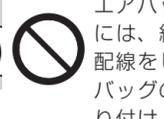
   本機は、DC12V ⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。

[接続・取り付け]

取り付けには保安部品のボルトやナットは絶対に使用しない

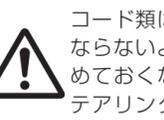
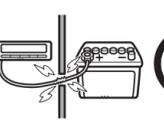
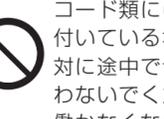
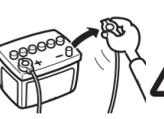
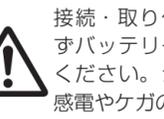
  車体のボルトやナットを使用して本機の取り付けやアースをとる場合は、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの保安部品に使用されているボルトやナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取り付け・配線しない

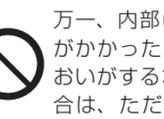
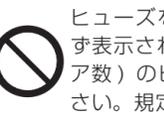
  エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付け・配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる場所に取り付け・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、ケガや事故の原因となります。

警告

[接続・取り付け] のつづき

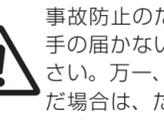
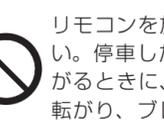
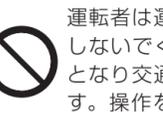
<p>前方の視界や運転の妨げになる場所には取り付けない</p> <p>  前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作の妨げになる場所、運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。保安基準に基づいて取り付けないと、交通事故やケガの原因となります。</p>	<p>車両の電装品が正常に動作することを確認する</p> <p>  取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウinkerなどの電装品が元どおり、正常に動作することをお確かめください。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。</p>
<p>コード類は運転操作の妨げとならないように配置する</p> <p>  コード類は、運転操作の妨げとならないようテープなどでまとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。</p>	<p>⊕バッテリー電源用のリード線はバッテリーに直接接続しない</p> <p>  ⊕バッテリー電源用のリード線は、エンジンルームに穴を開けてバッテリーに直接接続しないでください。車の振動や熱で被覆が破れて車のボディにショートすると火災や感電の原因となります。</p>
<p>車体に穴を開けるときの注意</p> <p>  車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。</p>	<p>コード類は途中で切断しない</p> <p>  コード類には、ヒューズなどが付いている場合があります。絶対に途中で切断し、短くして使わないでください。保護回路が動かなくなり火災の原因となります。</p>
<p>電源リード線に他の機器の電源を接続しない</p> <p>  電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。リード線の電流量をオーバーし、火災や感電の原因となります。</p>	<p>作業前はバッテリーの⊖端子を外す</p> <p>  接続・取り付けの作業前は、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。</p>

[異常時の処置]

<p>故障のまま使用しない</p> <p>  画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。</p>	<p>異常のまま使用しない</p> <p>  万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。</p>
<p>ヒューズは規定容量（アンペア数）以外のヒューズを使用しない</p> <p>  ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。</p>	<p>雷が鳴りだしたらアンテナ線やテレビに触れない</p> <p>  雷が鳴りだしたら、アンテナ線やテレビに触れないでください。落雷により感電の危険性があります。</p>

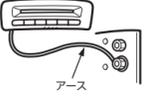
警告

[使用方法]

<p>実際の交通規制に従って走行する</p> <p>  ナビゲーションによるルート案内時も、必ず実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内だけに従って走行しますと実際の交通規制に反する場合があります。交通事故の原因となります。</p>	<p>電池は幼児の手の届かないところに保管する</p> <p>  事故防止のため、電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。</p>
<p>運転中にテレビやビデオを見ない</p> <p>  運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させて、サイドブレーキをかけてください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。</p>	<p>リモコンを放置しない</p> <p>  リモコンを放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと、運転の妨げとなり交通事故の原因となります。操作をするとき以外は、固定しておいてください。</p>
<p>運転中の画面の注視は必要最低限にする</p> <p>  運転者は運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。前方不注意となり交通事故の原因となります。</p>	<p>挿入口に異物を入れない</p> <p>  テープ・ディスク・マガジンなどの挿入口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となることがあります。</p>
<p>運転中に操作をしない</p> <p>  運転者は運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作を行うときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。</p>	<p>本機に水や異物を入れない</p> <p>  本機の内部に水や異物を入れないでください。発煙・発火・感電の原因となります。</p>
<p>分解や改造をしない</p> <p>  本機を分解したり、改造しないでください。事故・発火・感電の原因となります。</p>	

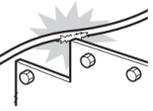
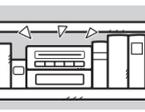
⚠ 注意

[接続・取り付け]

<p>取り付け・配線は販売店に依頼する</p>  <p>本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をする、車に重大な故障をきたす場合があります。</p>	<p>付属の部品以外は使用しない</p>  <p>必ず本機および取付キットに付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあり危険です。</p>
<p>水がかかる場所やほこりの多い場所には取り付けない</p>  <p>ドア近くの雨が吹き込む所など水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所への取り付けは避けてください。本機に水や湿気、ほこり、油煙が入り込むと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。</p>	<p>フッ素樹脂処理されたボディやガラスにアンテナを貼り付けない</p>  <p>アンテナをフッ素樹脂処理されたボディやガラス、及び再塗装されたボディに、両面テープで貼り付けると、走行中にアンテナがはがれて落下し、ボディに傷をつけたり、事故の原因となることがあります。</p>
<p>直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所には取り付けない</p>  <p>直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所には取り付けないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。</p>	<p>振動の多い場所や不安定な場所には取り付けない</p>  <p>振動の多い場所や不安定な場所など、しっかりと固定できない場所への取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故やケガの原因となることがあります。</p>
<p>アンテナを両面テープで取り付ける場合は貼り付け場所をきれいにする</p>  <p>アンテナを両面テープで貼り付ける場合は、貼り付け場所をきれいに拭き、確実に固定してください。貼り付け場所をきれいにしないと、走行時の振動等でアンテナがはがれて落下し、ボディに傷をつけたり、歩行者に接触したりして事故の原因となることがあります。</p>	<p>アンテナは不安定な場所には取り付けない</p>  <p>アンテナは不安定な場所には取り付けないでください。ガラス曲面がきつく取付金具がガラス面に合わないなど不安定な場所に取り付けると、走行中に落下し事故などの原因となることがあります。</p>
<p>アンテナは車幅からはみ出して取り付けない</p>  <p>アンテナは、車幅からはみ出さない場所、また、車の前後からはみ出さない場所を選んで取り付けください。歩行者などに接触して思わぬ事故の原因となることがあります。</p>	<p>製品を天井など不安定な場所に取り付けない</p>  <p>天井など不安定な場所に取り付けられないでください。落下し、事故やケガの原因となることがあります。</p>
<p>通風孔や放熱板をふさがない</p>  <p>本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>	<p>正しく接続する</p>  <p>取付説明書や取扱説明書で指定されたとおりに正しく接続を行ってください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。</p>

⚠ 注意

[接続・取り付け] のつづき

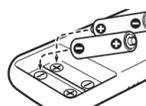
<p>エアバッグの注意事項を車両メーカーに確認する</p>  <p>エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。</p>	<p>車両の動く部分にコード類をはさみ込まないように注意する</p>  <p>車体やネジ部分、シートレールなど、車両の動く部分にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。</p>
<p>コード類が金属部と接触する場合は保護テープを巻く</p>  <p>コード類が車両の金属部に接触しないように配線してください。どうしてもコード類が車両の金属部と接触する場合は、必ず接触部分に保護テープを巻き、コード類の被覆を保護してください。保護しないと火災や感電の原因となります。</p>	<p>高温部を避けて配線する</p>  <p>コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし火災や感電の原因となることがあります。</p>
<p>アンテナコードの車内への引き込みには十分気をつける</p>  <p>雨や水の車内への侵入を防ぐため、アンテナコードの車内への引き込みには十分気をつけてください。車内に浸水すると車内を汚染し、火災、感電の原因となることがあります。</p>	<p>車載用以外では使用しない</p>  <p>本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。</p>

[使用方法]

<p>適正な音量や明るさで使用する</p>  <p>運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。また、画面は適切な明るさでご使用ください。</p>	<p>走行中はモニターの立ち上げや収納を行わない</p>  <p>モニターの立ち上げや収納の際、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて、立ち上げや収納の操作を行ってください。</p>
<p>電源を ON にする時はボリュームの位置に注意する</p>  <p>電源を ON にする時は、ボリュームの位置に注意してください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。</p>	<p>モニターの立ち上げや収納時に手や指をはさまれないように注意する</p>  <p>モニターの立ち上げや収納、角度調節時に手や指、衣服をはさまれないように注意してください。また、テープ・ディスク・マガジンなどの挿入口に手や指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。</p>
<p>アンプの放熱部には手を触れない</p>  <p>アンプの放熱部には手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをすることがあります。</p>	<p>取り付け場所の変更は販売店に依頼する</p>  <p>本機の取り外し、取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。</p>

⚠ 注意

[使用方法] のつづき

<p>指定の電池を使用する</p>  <p>指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用したり、違う種類の電池を一緒に使用したりしないでください。電池の破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となります。</p>	<p>電池の極性 (⊕、⊖) に注意する</p>  <p>電池を機器内に入れるときは、極性 (⊕、⊖) に注意し、表示どおりに入れてください。電池の極性を間違えると電池の破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。また、使い切った電池はすぐに交換してください。液もれにより、周囲を汚染する原因となることがあります。</p>
<p>リチウム電池を廃棄するときは絶縁状態にする</p>  <p>リチウム電池を廃棄する場合は、⊕、⊖の端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。他の金属片など導電性のあるものと一緒に廃棄するとショートして、発火や破裂の原因となることがあります。</p>	<p>電池は分解したり加熱したりしない</p>  <p>電池をショートさせたり、分解したり、加熱したりしないでください。また、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災やケガの原因となることがあります。</p>
<p>電池は充電しない</p>  <p>乾電池は充電しないでください。電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。</p>	<p>リモコンは直射日光の当たる場所を避けて保管する</p>  <p>リモコンは直射日光の当たる場所や高温、高湿の場所を避けて保管してください。ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因となることがあります。</p>

[異常時の処置]

<p>音が異常のまま使用しない</p>  <p>音が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。</p>	<p>乾電池の液もれに注意する</p>  <p>特にアルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後すぐに医師の治療を受けてください。</p>
---	--